

# 最優秀賞にジョイクル

## CNB「ベンチャー大賞2025」

受賞者と審査員（前列左から3人目が  
JOYCLERの小柳代表取締役）



中部ニュービジネス協議  
会（CNB、永井淳会長）  
は17日、名古屋市昭和区の  
スタートアップ支援拠点  
「ステーションAi（エー  
アイ）」で、イベント「ニ  
ュービジネスフェア202  
5」を開催した。「CNB  
ベンチャー大賞2025」  
優秀賞の5社がプレゼン  
テーションを行い、選考委員  
らの投票の結果、ごみのア  
ップサイクル事業に取り組  
むJOYCLER（ジョイクル、本社名古屋市中区）が最優秀賞に選ばれた。

同社は、ごみを燃やさず  
に有害物質を除去し、再資  
源化できる小型プラントを  
開発。小柳裕太郎代表取締  
役は「ごみを運ばず、燃や  
さず、排出した事業所内で  
低コストに再資源化でき  
る」と提案した。

このほか中部経済産業局  
長は、児童発達支援施設を  
全国展開するリイ（本社名  
古屋市）が受賞。名古屋商  
工会議所会頭賞には、人工  
知能（AI）による越境電  
子商取引（EC）手続き自

動化を手掛けるSAZO  
（本社名古屋市中区）を選んだ。  
優秀賞は、人工透視の負  
担軽減装置を開発するシー  
ニアルライト（本社浜松市）  
と、AIの空間認識で社会  
課題の解決を図るマップフ  
ォー（本社名古屋市中区）が受  
賞した。

また、永井科学技術財団  
（永井淳理事長）から、素  
形材分野に貢献する企業に  
贈られる特別賞は、使用済  
み茶葉などを再資源化する  
S-Bridges（エス  
ブリッジズ、本社浜松市）  
が受賞した。

